ISSN 0453-8889

近畿大学
農学部紀要

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE OF KINKI UNIVERSITY

第47号
2014

近畿大学農学部

ISSN　0453-8889

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE OF KINKI UNIVERSITY

近 畿 大 学 農 学 部 紀 要

第 47 号　2014

目　　　次

原　著

境界域及び軽度コレステロール血症患者の血清 LDL-コレステロール値はキトサン入りカプセル摂取で減少する
……………………………………………吉川賢太郎，岩崎はるみ，蒲尚子，郡俊之，撫井賀代　1

地下水シミュレーションモデルによるパキスタン・パンジャブ地方におけるスキミング井戸有効性の検証
……………………………………………………………アスラム　ムハメド，松野裕，八丁信正　11

変態期のニホンアカガエルにおける蛍光イラストマータグの有効性
………………………………………………………………………小田優花，北川哲郎，細谷和海　33

タウナギの特異的血液性状…………………………………………………佐伯実香，北川哲郎，久保喜計　39

生産者直営型農産物直売所の社会経済的分析—岡山県赤磐市の直売所Ａを事例に—
……………………………………………………………………………………加藤靖子，池上甲一　51

ブラッドオレンジ果汁における抗酸化活性，糖質分解酵素阻害能およびアントシアニン
……………………………………上田茂登子，志水恒介，佐々木勝昭，渡辺克美，宇都宮直樹　67

調　査

センサネットワークによるニッポンバラタナゴの生息環境のモニタリングシステムの構築
………坂田伊織，岡田龍也，杉本智嗣，須山敬之，柳沢豊，岸野泰恵，松永賢一，北川忠生　77

2009～2013年における香川県沿岸の海産貝類相について
…………………………………………………………………………瀬尾友樹，Jean TANANGONAN　87

資　料

近畿大学バスバスターズによる2012年度外来種駆除の取り組み
……………………………………………………………………………竹本雅則，細谷和海　**125**

近畿大学地域環境モニタリングシステム気象観測データ2013年１月～12月
…………………………………………………西野済，宮崎伸夫，Jean Tanangonan，奥村博司　**135**

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE OF KINKI UNIVERSITY

Volume 47, 2014

CONTENTS

Original

Lowering serum LDL-cholesterol in mild hypercholesterolemia patients with chitosan capsules
Kentaro YOSHIKAWA, Harumi IWASAKI, Naoko KABA, Toshiyuki KOHRI and Kayo MUI ········· **1**

Assessment of skimming well performance in Punjab, Pakistan by groundwater simulation modeling
Muhammad ASLAM, Yutaka MATSUNO and Nobumasa HATCHO ········· **11**

Efficiency of fluorescent elastomer internal tags on the Japanese brown frog, *Rana japonica*, during metamorphosis
Yuka ODA, Tetsuro KITAGAWA and Kazumi HOSOYA ········· **33**

Hematological characteristics of the swamp eel, *Monopterus albus*
Mika SAEKI, Tetsuro KITAGAWA and Yoshikazu KUBO ········· **39**

Socio-economic analysis of the direct-sale shop managed by farmers : A case study of A in Akaiwa city, Okayama prefecture
Yasuko KATO and Koichi IKEGAMI ········· **51**

Antioxidant activities, inhibitory activity of saccharide-hydrolyzing enzymes and anthocyanins in blood orange juice
Motoko UEDA, Kohsuke SHIMIZU, Katsuaki SASAKI, Katsumi WATANABE and Naoki UTSUNOMIYA ········· **67**

Survey

Construction of the environmental monitoring system using sensor network to investigate the habitat of the Japanese rosy bitterling (Cyprinidae)
Iori SAKATA, Ryuya OKADA, Tomotsugu SUGIMOTO, Takayuki SUYAMA, Yutaka YANAGISAWA, Yasue KISHINO, Ken-ichi MATSUNAGA and Tadao KITAGAWA ········· **77**

Recent marine malacofauna in Kagawa prefecture, 2009–2013
Tomoki SEO and Jean TANANGONAN ········· **87**

Research Data

Eradication activity on invasive alien species by "Bass busters", Kinki University, 2012
Masanori TAKEMOTO and Kazumi HOSOYA ········ **125**

Nara campus meteorological database from January to December 2013
Wataru NISHINO, Nobuo MIYAZAKI, Jean TANANGONAN and Hiroshi OKUMURA ········ **135**

近畿大学農学部紀要投稿規程

1．報文の投稿者は、近畿大学農学部教員、大学院生（修了後３年以内）、学部学生（卒業後３年以内）とする。ただし、共著者については、本学部の、技術員、研修員、研究員他を含むが、部外*の共著者が筆頭者となる報文の投稿については、事前に紀要委員会の承認を得なければならない。また、大学院生、学部学生が投稿する場合には担当教員の承認を必要とする。
2．報文は、投稿者の原著、ノート、総説、総合論文、調査・資料とする。
3．原著は、本規程ならびに原稿作成要領に従って作成されたものでなければならない。
4．報文は、原則 USB メモリーあるいは CD-ROM 入稿とする。
5．報文は、各学科の紀要委員を経て委員長に送付し、紀要委員会のもとに到着した日を受理の日とする。
6．原稿は、すべて編集会議において掲載の可否を審議する。
7．編集会議において、そのまま掲載できないと判断された場合は、その理由をふして著者に訂正を求める。この場合は、訂正原稿が委員長のもとに到着した日を受理の日とする。
8．紀要委員会は、編集会議の参考に資するため、投稿原稿の査読を本学部に所属する２名以上の教員に依頼する。
9．報文の掲載は、原則として受理の日順とする。ただし、内容による区分等を必要とする場合等を考慮することがある。その際には、編集会議で掲載順を決定する。
10. 報文の著者および共著者は、当該報文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された報文については冊子体以外の媒体でも公開されることを承諾したうえで投稿しなければならない。
＊附属農場、水産研究所は、部内に準じるものとする。

附記　平成17年７月改正
附記　平成25年６月改正

紀要投稿に関する諸注意

1．投稿の締切日は、９月30日に定める。ただし、日曜日の場合は、翌日10月１日とする。
2．投稿するときは、所定様式の投稿カードに必要事項を記入し、USB メモリーあるいは CD-ROM とその内容を打ち出した原稿とともに学科の紀要委員に提出する。
3．原稿は、図、表、写真、英文 synopsis を含め、すべて３部ずつ提出する。ただし、２部は複写したものでも差し支えないが、重要な写真など写しでは不鮮明になる場合は、複写でない方が望ましい。
4．英文原稿には、和文の表題、和文の姓名、および200字程度の和文要旨を添える。また、和文原稿には、英文表題、ローマ字表記の姓名、および200字程度の synopsis を添える。
5．英文原稿の場合は、あらかじめ投稿前にネーティブの英文校閲を済ませたものでなければならない。未校閲の投稿は受け付ない。
6．字体は、投稿時に必ず指定しておく。
7．校正は、最終校を除き著者がおこなう。原則として、文章または図表の変更や追加をしてはならない。
8．別刷りは、50部まで無料とする。無料部数を超えた場合とカラー図版の費用は、原則として著者が負担する。また、刷り上り16ページまで無料とする。無料範囲を超えた場合、原則として著者が負担する。

附記　平成25年６月18日改正

電子媒体に関する諸注意

1．電子媒体は、USB メモリーあるいは CD-ROM を指す。
2．Microsoft Word Version 2003 以降のソフトウエアを使用する。
3．本文および表
　字体（フォント）は、明朝体（MS 明朝体、細明朝体）とする。
　英文の場合は、Times New Roman とする。
本文にイタリック体などの他の字体を用いる場合、Hard copy（書面）論文に下線を引き字体を指定する。
4．図および写真を用いる場合、Microsoft Power Point または Adobe Photoshop を使用する。
5．電子媒体と Hard copy の表記が一致していることを確認したうえで、提出すること。

附記　平成25年６月18日改正

近畿大学農学部紀要委員会

編　集　委　員　会

渡　辺　克　美
宇　山　　　満
滝　井　健　二
福　田　泰　久
Jean Tanangonan
田　辺　寛　之

近畿大学農学部紀要　第47号

平 成 26 年 3 月 20 日 印 刷
平 成 26 年 3 月 31 日 発 行

発　行　者　宇都宮　直　樹

編　集　人　渡　辺　克　美

発　行　所　近 畿 大 学 農 学 部
奈良市中町3327-204

印　刷　所　近畿大学 管理部 用度課（出版印刷）
東大阪市小若江３丁目４番１号

近畿大学
KINKI UNIVERSITY